

平成 22 年度性教育検討委員会概要

日時 平成 23 年 2 月 3 日（木）午後 3 時 3 0 分～4 時 4 0 分

場所 市役所 第 4 委員会室

出席者

性教育検討委員：学校医 4 名、産婦人科医 2 名、中学校長 1 名、養護教諭 2 名、指導主事 1 名、事務局（学校教育課保健担当）

会議概要

1 開会

2 あいさつ

性教育検討委員に対し、部長より日頃の尽力への謝辞と、次のとおりあいさつがあった。

今年度の「性教育講演会」も皆様の尽力により、命の大切さ、感染症の恐ろしさなどの理解を深める良い機会となっている。教育委員会では、性に関する関心や性衝動の発想が早期化の傾向にある現在、性についての正しい知識の普及を図ることを目的に中学生を対象に「性教育講演会」を開催している。皆様には、それぞれの立場から御意見をいただき、「性教育講演会」がより効果的であるよう、講演会の内容を検討いただくようお願いしたい。

3 委員長選出

要項第 4 条 2 項により、学校医部会長加藤委員が委員長に選出された。

4 議題

(1) 平成 22 年度の性教育講演会について

委員長：審議に入る前に事務局から概要報告してください。

事務局：22 年度の開催状況は、資料 1 の「性教育講演会開催日程一覧表」のとおりで、平成 22 年 6 月 2 日から平成 23 年 3 月 4 日までの間、市内 11 の中学校のうち、9 校が開催済み、あるいは開催予定である。城北中学校は、対象学年を 2 年生から 3 年生に変更したい旨申し出があり、今年度の 3 年生はすでに 2 年生の時に聴講しているため、今年度の講演会は見送った。なぜ対象学年を見直した理由については、昨年度の講演会をきっかけに過敏に反応し興味本位で受け止めてしまった生徒数名がいて、後日養護教諭が保健指導でフォローしたとのこと。カリキュラムの関係、発達段階、学校の様子も踏まえ、3 年生で受講した方がふさわしいと学校長が判断したためである。

なお、今年度の講演会では、講師に子宮頸がん予防ワクチンのアナウンスもしていただいている。

講演会の感想は、資料 2 のとおりで、いのちの大切さや、父母への感謝、相手への思いやりの大切さ、軽はずみな行動や情報の危険性、エイズなど性感染症の正しい知識、等が生徒達に伝わったことが伺える。参考にご覧いただきたい。

資料 3 は、性・エイズ教育に関する研究指定を受けた学校の取組みであり、この中で「性教育講演会」も取り上げられ、一連の性教育の中で相乗効果をあげている。(養護教諭が補足説明した。) 資料 4 の「性教育指導の手引き」は神奈川県が作成したもので、この手引きを講師に配布し、手引きに沿って講演いただいている。

委員 長：何かご意見等はいかがか。

委員：前回の検討委員会で、講師がどのような話をして欲しいか、学校の様子はどうか、などを事前に学校側と綿密に話しあっておくと講演しやすいのでは、ということが話題になっていたが、本年度はいかがか。

事務局：事前に連絡調整している。

委員 長：前回の検討委員会で、性教育講演会をしていての効果をなんらかの形で知りたいということが話題になったが、資料 3 の性教育の取組みの報告によると、アンケート結果の分析などから、「性・エイズ」に対する知識が定着している、講演会の取組みの成果が出ている、産婦人科医等の外部の専門的な方の講演がありがたい、などの評価や意見があり、性教育講演会の効果がみられ良いと思う。

委員：生徒からの相談で、市内に産婦人科の女医さんはいるのか、生理痛がひどくて産婦人科に行ったとしたら、どんな検査をされるのか、相談を受けたことがあるが、この機会にご助言いただきたい。

委員：市内にいる産婦人科医で女医は市立病院のみである。推測の部分もあるが、生理痛の対処として痛み止めを使いたがらない傾向にあると思う。受診を勧める前にまずは市販の痛み止めを使ってはいかがかと思う。また、産婦人科に受診すると内診されるのではと敬遠するだろうが、生理痛の訴えでは大抵内診はしない。

委員：中学生なら小児科に相談しても良いと思う。

(2) 平成 23 年度の性教育講演会講師の推薦について

委員 長：審議に入る前に事務局から概要報告をしてください。

事務局：資料 5 のとおり、7 名の講師を推薦するのでご審議をお願いしたい。

委員 長：事務局からの説明についての何か御意見等ありますか。(なし)

委員 長：それでは、事務局(案)の 7 名の講師を来年度の性教育講演会講師として推薦してよろしいか。

(異議なし)

(3) その他 子宮頸がんワクチンの予防接種について

委員 長：事務局から説明をお願いしたい。

- 事務局**：市健康づくり課が作成した「子宮頸がん予防ワクチン接種費用助成開始のお知らせ」をみていただきたい。小田原市では平成23年2月14日から高校1年生に相当する年齢の女子を対象に子宮頸がんワクチン接種費用の全額助成を行うことになったので情報提供するものである。なお、来年度はまだ予定の段階ではあるが中学1年生から高校1年生の女子が助成の対象になる方向で検討している。「お知らせ」文については、今回の高校1年生は個別配布だが、4月以降については学校を通して通知する方法を健康づくり課では考えている。
- 委員**：学校を通して配布するにあたっては、女子だけに配らなければならないことや、ワクチンを学校が推進すべきものなのか、という問題があるかと思う。配布にあたり、広報等でのお知らせや個別通知の方が学校側はありがたいという意見もある。
- 委員**：他府県ではとっくに公費助成をしている。小児科にかかった保護者には、診察のついでに子宮頸がんワクチンのアナウンスをしているが、親はワクチン接種に積極的である。広報では読んでくれないことも多い。保護者への連絡事項として、期限付きの助成だし、自費では非常に高額なので、他の予防接種の案内同様に学校でも案内していただきたい。
- 事務局**：他の予防接種の案内も混ぜるなど、内容と配布方法は今後学校と健康づくり課で調整する予定である。
- 委員**：自治体によって公費助成する時期が違うので、診察に来た方に対し、この方には無料の案内、この方には有料だけど接種を勧めるなど煩雑になるが、近隣市町の来年度の予定は分かっているのか。
- 事務局**：まだどの自治体も調整中で公表されていない。
- 委員長**：他にありますか。
- （なし）
- それでは、性教育検討委員会を終了する。

以上